

## 研究する表現力及び今後の進め方

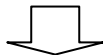
### 1 公開授業から明らかになったこと

表現力を要する場面がいくつかあることが分かった。

問題を捉える場面(つかむ) 自分の中にイメージが持てる

解決の手だて(調べる) 式に至るまでを自分にとって分かりやすく表す。

発表(練り合う) わかったことできたことを他が分かるように示す



練り合う場面での表現力を高めていきたい。

- ・ 友達に説明できる(理由をつけて示すことができる)
- ・ 友達の説明が分かる

### 2 研究する表現力

#### 練り合う場面での表現力(全体公開授業より)

- ・ 前提として自分の考えを持っていること
- ・ 友達に説明できる(理由をつけて示すことができる)
- ・ 友達の説明が分かる

表現の内容・方法とも関連しているので同時に研究する。(7/7算数部会にて)

**表現の内容** 子ども同士が交流するための表現法として図・表・グラフ・具体物・半具体物をどのように用いるか。

どんな表現法があるか。

子どもたちはどのような使い方をするのか。あるいは子どもたちにどのような使い方をさせるのか

子どもたちの考えが交流しやすいのはどれか。(授業実践にて検証)

ねらいにそった考えを導きやすいのはどんな道具をどのように使ったときか。(授業実践にて検証)

**表現の方法** 考えを示すときその考えの根拠を示した説明のしかた。

どんな内容が発表に含まれていればよいか(事実, 根拠, 分かりやすい物・図など)。

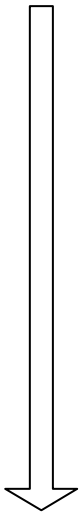
発達段階によって異なってくるであろう。

どのような順序で説明すればよいか。(含 言葉の使い方 接続詞や指示語の使い方)

ノートにはどのように記しておけばよいか。

### 3 研究の進め方

算数の基礎である数概念を育てるという意味で図形以外の領域における表現法とその使い方(使わせ方)について研究を進める。



表現法を知ることとその使い方を研究する進め方(表現法を絞らず、学年のつながりは重視していない)

単元はしぼりこまず、各学年ごとに設定した単元における研究。

子どもたちが苦手とする文章題を選んだ方が表現力の現状や課題が見つかりやすいのではないか。

成果として得られるであろうこと

数概念を身につけるために有効と考えられる表現法

学年で設定した単元において子ども同士が交流する上で有効な表現法

表現法を用いた効果的な表現の仕方

#### やるべきこと 1 (方法及びその順序)

**単元を決める(夏季休業中)** 子どもたちが使う表現法(図・表・物)をピックアップ

子どもが考えをもちやすい・表しやすい、子ども同士が交流しやすい

**授業案を考える(夏季休業中)** 子どもたちが自分の考えを説明するのに適したところ(導入・意味理解の段階) (いくつかの流し方を比較しても良いと思われる)

**実践する(2・3学期)** 子どもたちが使った表現法及びどのように使ったかがわかるものを残す。(ノート・発表物の写真など)

**検討(授業研究)** 各学年での実践をもとに話し合う。(表現したものを持ち寄る)

- 子どもたちは表現法を使って考えを表現できたか
  - 表現法を用いた発表をもとに交流できたか。
  - 考えを表す上で有効な表現法
  - 表現法の指導のあり方(使い方をどのように指導するか)
  - 考えの説明の仕方及びその指導
- 授業を見る視点
- 実践をもとに話し合う内容

#### やるべきこと 2 (作成するもの)

##### 公開授業・研究授業の指導案の作成及び提出

(略案・細案ともに「どんな表現法をどのような考えで用いたのか分かるように)

授業観・児童観・指導観が示され、指導観の中で表現法について触れられていればよいと考える。

##### 学年としてのまとめ(成果と課題)

- 子どもたちの考えを説明させる上で意図的に用いた表現法は有効だったか。
- 子どもの側から持ち込んできた表現法は、どのようなものがあったか。
- 表現の方法として各学年の段階に必要なもの(説明に含まれるもの・順序)